

”農地・水・環境保全” 水土里のネットワーク通信

< 第 42 号 >

2011. 4. 1発行

島根県農地・水・環境保全協議会

～ 島根県農地・水・環境保全向上対策検討委員会を開催 ～

本対策がより効果的に進められるよう、各地域での活動を評価し、活動組織に対して助言等を行う第三者機関「平成22年度第2回島根県農地・水・環境保全向上対策検討委員会」を3月11日(金)に松江市で開催しました。

当日は、7名の委員全員の出席により、本対策の取り組み状況やアンケート調査結果、耕作放棄地発生防止効果等について、県からの説明を受けた後、委員の方々から活発な議論及び助言がありました。



主な意見、助言は次のとおりです。

- 担い手の育成
 - ・ 集落営農等にも言えるが、組織が小さすぎると集落の負担感が大きくなる。ある程度、活動組織の規模を広域化し、あわせてコーディネイトする人材の養成が必要である。
- 事務の簡素化
 - ・ 活動組織の事務負担感が大きい。事務の分担化や、外部に委託していく方法をさぐる必要がある。
- 計画的な交付金の使途
 - ・ 繰越金が、年間交付金の6割を超えている活動組織がある。計画性が問われるので、繰越額を制限していくことも必要ではないか。
- 本対策の効果
 - ・ 農地・水・環境保全向上対策は、耕作放棄地の発生抑制に寄与している。
 - ・ 本対策がスタートしたH19年度以降、エコファーマー数や島根県エコロジー農産物の推奨面積等も順調に拡大し、本対策が環境保全型農業の普及に大きな役割を果たしている。



本対策の共同活動支援と先進的営農支援は、平成23年度が第1期対策の締めくくりの年度となります。

いただいたご意見の中でも、事務の負担の軽減対策については、県協議会としても第2期対策が実現した場合に備え、早急に具体的な方策を検討して参ります。

活動組織の皆様には、平成23年度末の残金は返還することになりますので、繰越金を含めこれまで以上に交付金を有効活用し、地域全体での共同活動の取組をお願いします。




突撃リポート

第2弾

インタビュー編

魅力ある島根の景観づくりに貢献しているまちなみや建造物及び活動等を表彰する「第18回しまね景観賞」が3月3日に発表され、「活動・工作物・その他部門」優秀賞を下田環境保全組合（隠岐の島町）が受賞されました。

今回は、代表 高宮守國さんの喜び!?の声をお伝えします。（高宮さんの声は青文字にしています。）

 「しまね景観賞」優秀賞おめでとうございます。「屋那の松原」を守り育てていく活動が認められての受賞ですが、今どんなお気持ちですか。

認められたことは嬉しいのですが、この景観を維持していくことの責任を感じて、私たちだけでいつまで管理できるかの方が不安です。今回の受賞が、より多くの人達に保全活動へ関心を持ってもらうきっかけになれば良いのですが……


 「屋那の松原」を守り育てていくために、具体的にどのような活動をしておられますか。

近年、松くい虫による被害が広がっており、平成21年度は、松くい虫耐性松を都万小学校児童と一緒に補植（50本）し、平成22年度は都万小学校児童、隠岐水産高等学校の生徒さんと一緒に植樹（450本）を行いました。管理としては、年2回程度下草の除草を行っています。

また、植栽地周辺に看板を設置して、地域の皆さんに私たちの活動を紹介しています。

 「屋那の松原」は地域の皆さんにとってどんな存在ですか。

当松原は下田圃場の防風林として植林されましたが、地域の方々はそれほどまで防風林的な認識は薄いのではないかと感じています。ですが、松原がなければ多大な塩害を受けると考えています。

 最後にこの活動に対する思いは。

活動に参加した児童たちが、成長して帰郷した際、大きくなった松並を見て自分たちが植樹したことを思い出してくれれば良いと考えています。また、自分たちの手でふるさとの景観を守っていく気持ちが芽生えればと思っています。

高宮さん、ご協力有難うございました。

「突撃リポート」次回はあなたの組織にお邪魔します……



「神門地区農地と水と環境を守る会」（出雲市） 平成22年度中国四国農政局長特別賞を受賞



「神門地区農地と水と環境を守る会」は、混住化の進む地域において、地域内の非農業者も参加しやすい景観保全活動を重点的に実施し、その結果新興住宅地内の一部で自治会が設立される見通しとなるなど、新しい地域コミュニティづくりのための活動が評価され今回の受賞となりました。

なお、神門地区の受賞は、平成21年度の「波積の里ええのう会」（江津市）、「国営カイパイ資源保全組合」（益田市）に引き続き、島根県では3組織目です。



「名誉な賞をいただき、今後も地域のコミュニティを幅広い世代と一緒に深めていきたいと思っております。」（岩瀬会長談）



作業は「安全」あってこそ!

向横田環境保全協議会（益田市）

私たちの地域は、取水口から受水口までの水路約2kmの間、多くは急峻な山、または高津川沿いにあります。従って、山崩れ、河川の増水に対する対応が極めて重要な作業となっています。

例年同じような作業の繰り返しなのですが、「先ず安全作業第一」を掲げ取り組むこととしています。4年間の活動の中で、今のところ事故無く実施出来ており、これからも無事故で頑張りたいと思っています。



◆保安帽着用

初歩的な安全対策ですが、実作業を伴う活動には必ずヘルメット着用で臨んでいます！！
(水路山側崩落による土砂、倒木の除去)



◆歩道橋の設置

従来は水路溝（かなり古い）の中、または、ふちを渡っていましたが、安全を期して歩道橋を設置しました。

✧ 「安全が一番！！」ですが、もしもに備えてあらかじめ保険に加入しておくことも大切です ✧

畑ほし柿生産組合（東出雲町上意東）が 第16回環境保全型農業推進コンクール優秀賞受賞



環境保全型農業推進コンクール（主催：全国環境保全型農業推進会議）は、有機農業をはじめとする環境保全型農業の確立を目指して意欲的に経営や技術の改善に取り組み、農村環境の保全活動を通じて地域社会の発展等に貢献している団体を表彰するものです。

この度、東出雲町の活動組織「上意東地域向上委員会」で営農活動に取り組んでおられる「畑ほし柿生産組合」の皆さんが、優秀賞（全国農業協同組合中央会会長賞）を受賞されました。

組合では、以前から除草剤は一切使用せず、平成19年に全組合員がエコファーマーとなり、環境に配慮した西条柿栽培に地域ぐるみで取り組んでおられます。また、柿園のみならず、周辺の山林や水源（貯水池）、道路の草刈りなどの環境保全活動も行っておられます。

ほし柿の生産・加工においては、「安全・安心」をモットーに自然乾燥を基本としたきめ細やかな管理を行い、消費者の信頼を得ることを心掛けられ、また、地元の小・中学生の体験学習や消費者との交流も積極的に行っておられます。

この度の受賞が、地域が一体となって取り組んでこられた活動の更なる発展につながるとともに、これらの活動を通じて上意東畑地区の豊かで美しい自然に溶け込んだ「柿小屋」の風景がいつまでも引き継がれることを期待しています。



平成22年度実施状況報告書は

市町村から通知があった期日までに必ず市町村長へ提出願います！

★今月の予定★

18 (月) 平成23年度農地・水・環境保全協議会第1回通常総会

ちょっと一息
おたよりコーナー

高耐久性テープを使用した水路補修 美談みどりの会(出雲市)



私たちの組織では、水路の漏水箇所の補修を高耐久性テープを使用して行いました。当日は10名の参加で5時間、延長300mを仕上げました。補修資材が誰にでも扱いやすく、補修箇所も平坦地でもあったことから女性三名の参加もありました。セメント工法等を試した年もありましたが、今回のテープ補修が一番楽しく作業ができました。男性の無骨な手作業より、女性の方がきれいに仕上げられました。この水路では、漏水もなくなり安定した用水の供給ができています。



高耐久性テープは、超耐候性のフッ素フィルムで構成され、水路清掃後、良く乾かし、目地部分に市販のポリウレタン樹脂系シーリング材で貼っていく簡易補修用のテープです。

【投稿規定】

郵便番号、住所、氏名、電話番号、組織の方ならば活動組織名を明記。
郵便、ファックス、メール、電話での投稿。次号への掲載は、前月20日ころまでに必着。
宛先は、〒690-0876 松江市黒田町432-1 水土里ネット島根「おたよりコーナー」係。
FAX番号 (0852) 24-0848、電子メール shigenhozen@shimanedoren.or.jp



～担当者の声～

「いつも一人で何もすることがなかった。共同活動に参加して、地域の皆さんが私を必要としていることを感じて嬉しい。」共同作業の慰労会での、70代の男性の一言です。建設業に携わっていた時の技術を生かし、水路の補修作業の陣頭指揮を執られた時のことです。

「未来へつなごう！^{ふるさと}水土里の^{たから}資源」今号に同封した活動事例集です。本当の^{たから}とは、「地域の一人一人」、そして受け継がれる強い「絆」であると思います。三年間お世話になりました。(元協議会M)

～農地・水・環境保全向上対策に関することは！～

- ◆島根県農地・水・環境保全協議会まで
〔事務局〕水土里ネット島根 Tel 0852-32-4144 Fax 0852-24-0848
<http://www.nouchimizu-shimane.jp>
- ◆島根県農林水産部農村整備課資源保全スタッフ（共同活動） Tel 0852-22-6262
" 農畜産振興課有機農業グループ（営農活動） Tel 0852-22-6477
http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/
- ◆又は県内各農林振興センター、最寄りの各市町村担当課までお問い合わせ下さい。



飯山環境保全協議会
(出雲市)